

## 微笑

風はそよとも吹きません  
曇り空の蒸し暑い 今日という時  
私は哀しく慰めている  
遠く、遥かに、高く、もっと高く  
いずれ訪れるであろう死が微笑している  
息子たちよ、自由であれ  
私は、もう別の生き方を求めない  
夏という伝説を受け入れる大地がある  
草々が広がっている、そして揺れている  
いつの間に風が動き出したのだろう  
強い眠りに包まれ、私は奪われてゆく  
在る、ということの有機的な質感  
私が現在居る場所へ踏み入る者はない  
事実、ただの事実が隊列を作っている社会  
息子たちよ、もっと自由であれ  
私は、もう別の生き方を求めない  
あの微笑に奪われてゆく、その他に

(2005.7.17)